

ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2018年1月

第 **270** 号

新年、明けましておめでとうございます。

皆様、2018年、どこでどんな気持ちで、迎えられたのでしょうか。

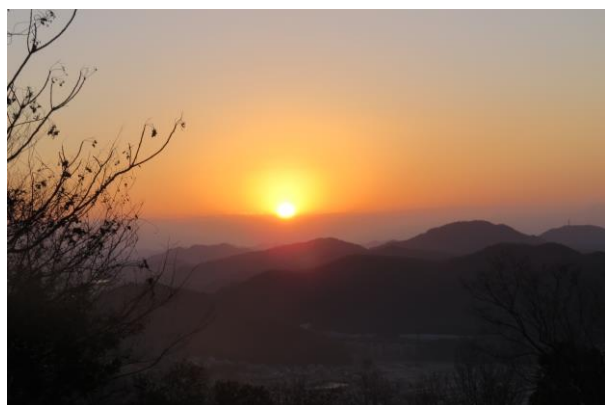
私は、10代を過ごした播州平野の金輪山(標高220m)の山頂で、初日の出を拝みました。

すごく寒くて、霜柱を久しぶりに踏みしめました。近くのソヨゴの実や葉も水分が凍って光っていました。

昨年、たくさんの天変地異が起きました。幸い私の住む福岡は、さほどの影響はありませんでした。

地球規模でみると、大規模な気候変動が、次々と起きていることが、報道されています。いつ、自分の身に
 そういう災害が起きてもおかしくない状況だと思います

この1年、春夏秋冬がいつものように、変化を繰り返し、平穏に過ぎていくことを願いたいと思いました。



1/1 初日の出



幸運にも 1/1 に会ったアオバト

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
 (NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(向)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 80★

春日公園で、真冬を、じっくりと観察します。

☆日時 1月21日 (日) 集合14時 ~ 解散16時

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

1 / 2 1 (日) 2 / 1 8 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

1 / 2 8 (日) 2 / 2 5 (日)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

2 / 4 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

2 / 1 0 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

2 / 1 1 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2 / 6 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会 主催

1 / 2 1 (日)
有明海・東与賀干拓（佐賀市）
時 間：10:00～
集 合：東与賀干拓展望台
問合せ：090-7159-3933（松富士）

問合せ：092-662-2983（佃 昇）



カラスザンショウ実 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

2 / 3 (第1土曜日)
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）
参加費：200 円（大人のみ）

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



クロヒカゲ幼虫・ネザサ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会 主催

久留米の自然を守る会 主催

1 / 2 7 (土)
守る会定例会議
時 間：10:30～
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

1 / 2 7 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

直接お問合せください。
問合せ：090-1346-0460（橋田沙弓）
hashida@kurumenoshizen.net
<http://kurumenoshizen.net/>

ドングリとあそぼう

諏訪公園自然観察会

ネイチャーガイド・オオムタ「自然案内人」主催

福岡県南に位置する大牟田市の、昔、海だった埋立地に平成6年諏訪公園がオープンして今年で23年目を迎えた。小さかった植樹木もすっかり大きくなり、秋には石炭の木であるメタセコイアの黄葉やモミジバフウの紅葉が美しく、また色々なドングリの仲間もさまざまな形の実をつけるようになった。そこで、本会の主催で初めての試みであるが、ドングリを主役に諏訪公園自然観察会を開催した。11月19日（日）午前9時30分に集まってくれたのは参加者

12名とスタッフ6名の計18名。受付の江浦俊彦さんが保険代の参加費

1000円を確実に徴収したところで出発。冬の寒さをたっぷり体感しながら歩を進めると、「見つけた！」早くも子どもたちから歓声が上がった。足元を見やると、ドングリが転がっている。さすがに子どもたちは目ざとい。よく見ると、ドングリの形が少し違うのが2種類ある。植物に詳しい中島健晴さんがそれぞれの木から葉を1枚だけ採って実といっしょに地面へ並べて、見分け方を説明した。そばで、横山喜代子さんが得意のパソコンで作った資料で補足説明。

ドングリの種類は、コナラとウバメガシであった。しばらく行くと、木肌が荒くてゴツゴツしたクヌギの木があった。シイタケの原木に利用され、その樹液には夏にカブトムシやクワガタが集まること。また、殻斗を見せながら団栗の団は座布団のことで、座布団の上に栗が乗っている様を表しているのがドングリの名前の由来との説明。下ばかり見ていたが、上を向くとジョロウグモが網を張っていた。お腹が大きく、裏が赤いメスばかりで、体の小さなオスは見つからない。繁殖の役目を終えたオスは、メスの栄養源に食べられてしまったのかもしれない。一方池を見やると、アヒルが2羽泳いでいるだけで、カモたちの姿はない。嶋崎俊介君が岸辺を手網ですくったら、コマツモムシがいっぱい採れた。今度は中嶋秀利さんが立ち枯れの木で、コゲラのまあるい古巣を見つけた。スコープを肩に担いで回っているが、お目当ての野鳥はなかなか姿を見せない。先程もハクセキレイが道の真ん中で尾を振り振りしていたが、スコープをセッティングする間もなく、遠くへ飛び去ってしまった。短く刈られた草むらで、1週間前の下見のときにいたヒシバッタを探していたら、落ち葉の上にクロマダラソテツシジミがじっとして動かない。近くを見回すと、案の定葉を失ったソテツがあった。長い豆をぶら下げた藤棚の下で、甲斐隆康さんがドングリ工作の準備をすっかり整えて、待ちくたびれておられた。寒風に吹き

付けられ、すっかり冷え切った私たちは、まず甲斐さんお手製の熱いドングリコーヒーを飲みながら、魔法瓶の中であたたかいままの煎られたシイの実をほおぼる。やっと体が温まったところで、ドングリ工作に親子で挑戦。材料入りの袋が毛糸で縛られ、それをオナモミの実で、ひつつかせて釣り上げる趣向である。子どもたちはペンダントやコマを嬉々として完成させた。やがて、北風が一段と強くなってきた。幼児が多いこともあり、風邪を引かせぬうちに予定より早く解散することにした。ハ、ハ、ハクション！！

（ネイチャーガイド・オオムタ「自然案内人」松永公幸）



大人も子どもも夢中だ ドングリ拾い



葉っぱと実で、ドングリの種類を判定



ドングリ工作で 材料を釣り上げる



コゲラの古巣について ガイド



出発前のオリエンテーション



探索まで ドングリの種類を判別



ドングリボーリングに興じる 女の子



落ち葉の上で 寒さに堪えるクロマダラソウダグミ

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ㊼

頭の後ろに付いているリボンの様な羽根。鉢巻を後ろで結んで、長く垂らしているように見える。アオサギのそれは、気合十分って感じがする。キンクロハジロは、目つきは金色で結構鋭い感じなのに、このリボンのせいで可愛く感じさせられる。図鑑にはこの羽根のことを“冠羽”と書いてある。つまり飾りといふかなんとか。鳥はなぜか、このような飾りが多いような気がする。羽根を膨らませたり萎ませたり、色々動くから、ますます表情豊かになる。

鳥同士には、ちゃんとした何かを伝えるための意味があるのでしょうね。私などから見ると、かわいかったり、おかしかったり、きれいだなんて思ったりするわけですが。＜さんじゃく＞

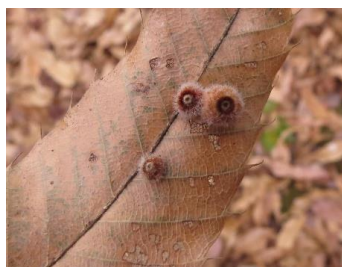


春日公園自然観察会(12/17)報告

春日公園自然観察会 12/17、天気は曇りから晴れ、5名で歩きました。

冬が始まっているのに、モミジバフウ、ドウダンツツジの紅葉が楽しめました。

冬の虫も、観察しました。一つ目が、クヌギの葉にたくさんの虫こぶがついて、その一部が落下していた。クヌギの周りの地面は、落下した虫こぶ(クヌギハケツボタマフシ)でびっしりと覆われていた。イス/キの虫こぶも発見。つつじの葉が食べられているのを見かけ、幼虫を発見。後日、ルリチュウレンジ(ハバチの仲間)の幼虫と分かりました。



虫こぶ(クヌギハケツボタマフシ)



ルリチュウレンジ(ハバチの仲間)



イス/キの虫こぶ

冬とはいえ、色々な生きものを楽しめました。野鳥も群れたスズメ、冬鳥のツグミやシロハラ、カササギなど 15 種を記録した。

報告: 田村耕作

★ 渋谷 和美さんからの報告

さて今月は 12 月 23 日の午前中の津屋崎海岸です。

普段は遥か彼方の沖の方を見て、カツオドリ観察するんですが、この日はとても近く、テトラポット付近でダイブしていました。



お知らせ 自然観察指導員の講習会

2018 年 12 月 1 日(土)から 2 日(日)に、国立夜須高原青少年自然の家で開催予定
ネイチャー佐賀、熊本県自然観察指導員連絡会、ナイス福岡の 3 団体で進めています。

皆さん、多くの参加者を紹介してください。

また、講習会の準備、夜須高原での実施には、会員の皆様の協力が必要です。

協力できそうな会員さんは、連絡をいただけませんか。ナイス福岡 事務局田村

連絡先: 090-8220-6160 (携帯)、メールアドレス: kurabird-.tamura@nifty.com

2017年12月 私のデジカメ日誌より 本のむし

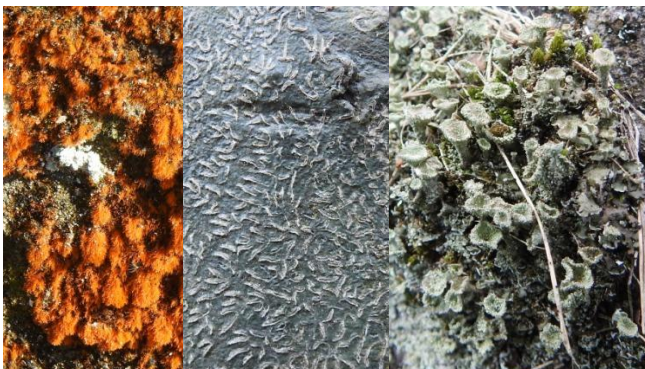
今回は、12月1日(旧暦10月14日)～12月31日
(旧暦11月14日)までのデジカメ日誌です。



12月15日(旧暦10月28日) 筑紫野市山神ダム
冬の柔らかな日差しにボタンヅルの綿毛が光っていた。林縁が華やかになった。



12月15日(旧暦10月28日) 筑紫野市山神ダム
自然観察を続けていると「いのちのはかなさ」によく出会う。ダム周回道路で拾った。落鳥という。外傷はなく死因はわからない。日本で小さい鳥の筆頭。体長10cm、体重5g。野鳥の会に後を託した。キクイタダキ、この冬は比較的多く渡って来ているという。



12月11日(旧暦10月24日) 小郡市三沢
12月17日(旧暦10月30日) 筑紫野市天拝公園
12月17日(旧暦10月30日) 春日市県営春日公園
今月観た地衣類三種。どの図鑑を見てもしっくりこない。奥が深すぎる。私なりに左からスミレモ科?、ヘトリモジゴケ?、ヒメジョウゴゴケ?



12月2日(旧暦10月15日) 長崎県波佐見町
やきもの公園世界の窯の一角にある「穴窯」の実物大の断面模型である。日本では古墳時代からある窯で、これで須恵器を焼いた。左側に焚口があり、左側へ緩い登り傾斜を炎が走り左端の排煙口へ抜ける仕組みである。古代、牛頸などの福岡南部の丘に、このような窯が無数に作られた時代があった。



12月16日(旧暦10月29日) 小郡市松崎大添溜池
今年は私にとって、この鳥によく出会った年であった。2月の筑前町、3月の豊岡市、そしてこの小郡市。今年生まれの早幼鳥(JO172)と思われるが、大きい!



12月17日(旧暦10月30日) 春日市県営春日公園
クヌギの葉裏にびっしりと付いたクヌギハケツボタマフシという虫こぶ(ゴール)。作ったのはクヌギハケツボタマバチ。漢字で書くと櫟葉毛壺玉付子か?見たままの命名のようだ。このタマバチは蛹で越冬中らしい。

くすのき 2018年1月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

投稿者：山翡翠

那珂川町在住でなくても満 18 歳以上の方であれば、どなたでも申込み可能です
詳細は以下をご確認下さい。

～自然環境観察員を募集します～

那珂川町の自然の魅力を一緒に発見しませんか！？（環境課）

自然環境観察員制度とは、那珂川町内の身近な生きものを調査することで、自然環境の変化や状況を知り、より多くの人々が自然環境に関心を持ってもらうことを目的にした制度です。
環境問題に関心のある人、地域の自然に興味のある人などは、ぜひご応募ください。

対象者：満 18 歳以上の人（平成 30 年 1 月 1 日（月曜日）現在）

定員：30 人以内

登録期間：2 年間（継続する場合有）

活動内容：「那珂川にはどんな動物が生息しているのか？」「植物はどこに多く生育しているのか？」

「わたしたちが住んでいる地質の成り立ちは？」など、あなたが那珂川町の自然環境の中で
興味があることをテーマとして調査し、その情報を発信する活動となります。

（例）「中ノ島公園に生息する魚類・水生生物の調査」、「五ヶ山ダムビオトープ
の植物の確認」、「地質断面を調査し那珂川の成り立ちを考える」など

主な活動の流れ

- (1) 会議：活動計画を決定する。
- (2) 調査：活動計画に基づき、現地調査を実施し、観察を行う。
- (3) 報告書の作成：観察した内容を報告書にまとめる。
- (4) 調査後の報告の定例会議の出席（平成 29 年度は 4 回実施（予定））

申込み：申込書に必要事項を記入し、役場環境課まで持参するか、郵送または電子メールで提出してください。

※申込書は、環境課の窓口または町ホームページからダウンロードすることができます。

申込み期間：1 月 10 日（水曜日）から 2 月 9 日（金曜日）まで ※郵送の場合は、2 月 9 日の消印有効。

備考：活動はボランティアとなります。

那珂川町役場（環境課）

〒811-1292 福岡県 筑紫郡那珂川町西隈 1 丁目 1 番 1 号

[Tel:092-953-2211](tel:092-953-2211)

<http://www.town.fukuoka-nakagawa.lg.jp/soshiki/7/sizenkankyokansatuin.html>



1/4 翡翠（茶山公園）



1/8 仙草（樋井川沿い）

うみがめ通信から（NPO法人屋久島うみがめ館 NO.111）
屋久島うみがめ館の解散の可能性についての重要なお知らせ

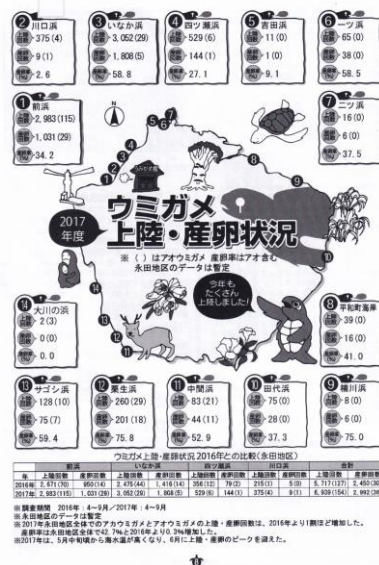
1985 年、ウミガメ研究会として活動開始してから 33 年、活動の成果が表れ、ウミガメは急増。しかし、ウミガメを取り巻く環境の悪化が目立ってきました。うみがめ館の重要性が増す中で、中心となるスタッフの高齢化、保護活動に参加する人の減少があり、事務局の体制維持、代表の後継者問題が解決できないだろうとのこと。

2月の定例総会で解散の決議を行い、承認されたら解散ということになるということです。

うみがめ通信の有料購読者である田字草の思い

この団体は、ウミガメの保護に大きな役割を果たしてきたことは、確かです。ところが、活動を担う人たちの高齢化や活動に参加する人たちの減少が、大きな壁となり団体の存在そのものが危機となっているようです。このことは、他の保護団体にも当てはまる事もあると思う。

この団体の活動場所の中心である永田浜は、日本一「アカウミガメ」が上陸する砂浜であり、ラムサール条約湿地に登録されています。ウミガメの保護活動はどうなるのか。国立公園の中にある活動の場、あらたな活動の担い手の出現を期待しつつ、国や自治体の関与を期待して、保護活動が途切れないことが、重要だと思う。投稿 田字草



 参加費・寄付金の報告 2017年 12/17の参加費 800円 でした。

◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆

 **インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。**
ナイス福岡のアドレスは最初のページの一番下に表示しています。



会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？

● 本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブードにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのお越しを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、平成30年2月9日（金）午後6時より事務局で行います。2018年2月号の原稿は、2018年2月5日（月）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。



編集後記

2017年12月号の定例発送会は、山本弘子、永松愛子、藤川渡、田村耕作が参加しました。

近くの池で、マガモ、ホシハジロ、アオサギ、カイツブリなど野鳥の観察をして、別の池に、住宅地を歩いて移動している時、葉をすっかり落としたモミジの枝で、メジロの巣？を見つけました。何回も歩いていた道ですが、葉が茂っていた季節には気が付かなかった。季節の変化は、色々と興味あるものが、発見できるようです。

田字草



1/7 撮影 メジロの巣？